

指導者プロフィール

高橋 礼華 (たかはし あやか)



6歳からバドミントンを始め、中学から聖ウルスラ学院英智中学校へ入学。
高校時代に1学年後輩の松友美佐紀選手とダブルスのペアを組み、
インターハイで団体、女子ダブルスの2冠に輝く。2009年に日本ユニシスへ入社後は、
「タカマツペア」で、2011年の全日本総合選手権で初優勝。以降3連覇を含む5度の日本一に輝く。
2016年全英オープン優勝、BWFスーパーシリーズファイナルズ優勝、
そして2016年のリオデジャネイロオリンピックでは日本のバドミントン史上初となる
オリンピックでの金メダルを獲得する。
引退後は、全国各地でバドミントンの指導・普及活動を行なっている。

高橋 沙也加 (たかはし さやか)



169センチの上背を生かした強力なスマッシュが持ち味のサウスポーで
世界ランキング最高位は10位の成績を持つ。2007年に全国中学校大会で
優勝を収め、2010年高校選抜大会とインターハイで女子単優勝し2011年にパナソニック入社。
その後、全日本社会人選手権で優勝を収め、2013年には日本ユニシス(現BIPROGY)へ移籍。
2019年A代表へ復帰すると、中国オープンで4強入りなど国際舞台で活躍、
2022年 日本代表として活躍したが同年引退をした。
2023年リーニンブランドのアンバサダーを務め、バドミントンの普及活動などに尽力している。